

でんきが築くわたしたちの夢

金沢市立工業高等学校 3年電気科 永野 央樹

今日、電気が果たす役割は非常に大きなものとなっている。電気は、私たちの生活に欠かすことのできないライフラインの一つである。電気という分野には、実に様々な種類の分野があり、私は、この中でも、情報・通信という分野に大きな夢がある。

私は、今年の4月より電気通信業を行う企業に就職することが決まった。この企業に就職を決めた理由の一つに、あるニュースが関係している。そのニュースとは、筋萎縮性側索硬化症（ALS）という病気を患った方がパソコンを使用して人工知能を搭載したロボットを操作し、カフェで商品を運ぶ仕事をするというものである。このロボットを通じて、お客様とALSの患者の方が音声通信により実際に話すことができる。私はこのニュースを見た時、ALSの患者の方が生き生きと働いており、社会貢献できることに生きがいを持っている姿にとても感動した。それと同時に、私はこのような事業を、通信技術を通して全国各地に広めていきたいと思った。

私が仕事を通してやりたいことは、現在あるものをより簡素化し、誰にでも使いやすいシステムとすることである。また、高速かつ円滑な通信を行うことができる5Gの通信技術を活用することにより、ALSの患者の方もストレスなく仕事が出来ると考える。これらの技術を上手に応用して、様々な場所で沢山の人が利用できるようなシステムを開発することができれば、重病を患う方にも生きがいを感じられる社会が実現できるのではないかと考える。このようなシステムを開発することが私の夢である。

この夢を叶えるためには、様々な知識や技術が必要不可欠である。残り僅かとなった高校生活で、電気に関する知識と技能を誰よりも深めていきたい。また、社会に出てからも、情報や通信の技術で障がいのある人や重病の方など分け隔てなく、沢山のの人に生きがいを与えられるように努力していきたい。

(777文字)